

- 座長：岡田 康彦（独立行政法人森林総合研究所）、
副座長：田村 浩行（応用地質株式会社）
- 3-26 志津地すべりでの高密度ステップ孔内試験
菖蒲 幸男（応用地質株式会社）
- 3-27 地すべり斜面浅層地下水の深度別観測
奥山 武彦（山形大学）
- 3-28 山形県七五三掛地すべりにける省力型3次元電気探査の事例
西川 裕輔（株式会社 日さく）
- 3-29 TDEM法による地すべり地比抵抗構造調査
中里 裕臣（農研機構）

■国際シンポジウム（Cold Region Landslides）

8月29日に、学会設立50周年記念行事の一つとして、国際シンポジウム「Cold Region Landslides（寒冷地の地すべり）」(世話人：丸井英明教授)が開催された。国内外から8件の発表があり、その後の総合討論で活発な討議がなされた。最初に世話人である丸井英明教授より今回の国際シンポジウムの主旨と寒冷地における地すべりの概要、および新潟県の地すべり事例が示された。その後、中国のNortheast Forestry Universityの研究者が4件の地すべり調査・解析およびモニタリング事例を報告した。国内からは、秋田大学、新潟大学の研究者が融雪に伴う破壊メカニズムと数値シミュレーション解析および地すべり地内の地下水の残留時間について報告した。

座長：Chunxiang WANG (Niigata University, Japan),
副座長：Yasumasa FUJIWARA (Eight-Japan Engineering Consultants Inc., Japan)

- 4-1 An Overview of Cold Region Landslides
Hideaki Marui (Niigata University, Japan)
- 4-2 Formation Mechanism and Stability analysis of the Bei'an to Heihe Expressway K177Landslide
the Bei'an to Heihe Expressway K177Landslide
Hua JIANG (Northeast Forestry Univ., China)
- 4-3 Research on formation mechanism of permafrost landslide
Zhaoguang HU (Northeast Forestry Univ., China)
- 4-4 Monitoring and experiment on the effect of freeze-thaw on soil cutting slope stability
Ying GUO (Northeast Forestry Univ., China)
- 4-5 Beihei Highway Ground Deformation Relative Ground Temperature Factor Interpretation Based on Remote sensing Imagery Technology
Chunjiao WANG (Northeast Forestry Univ., China)
- 4-6 A Failure Mechanism of Semi Infinite Slope in the Snow Melt Season
Takeshi ITO (Akita University, Japan)
- 4-7 Residence-time of ground waters from the Shizu landslide in the southern foot of Mt. Gassan, Northeast Japan
Naoki WATANABE (Niigata University, Japan)
- 4-8 Numerical simulation and analysis of snowmelt-caused landslide in Kokugawa, Joetsu City, Niigata Prefecture
Chunxiang WANG (Niigata University, Japan)

(総合討論)

■ポスターセッション

ポスターセッションは36件の発表があり、8月30日(金) 13:15~14:15のコアタイムを中心として活発な討論が行われた。発表では、東北日本太平洋沖地震に伴い発生した斜面災害に関する研究成果報告をはじめとして、全国各地で発生した斜面災害に関する研究報告があったほか、地下水の調査・解析に関する研究、融雪と地すべりにかかわる研究、新しい計測技術による地すべり挙動の把握に関する報告など多岐にわたる分野の発表があった。また、地すべり模

型に関する発表や気球による空中からの空撮などユニークな研究成果の報告もあった。

若手研究者の発表奨励策の一環として実施している若手ポスター賞は、実行委員長、事業計画部長を含む6名により審査され、ポスターの出来栄え、発表時の応答、研究のオリジナリティについて5段階で評価を行った。該当者(35歳以下)11名から、以下の方の受賞が決定し、汪実行委員長から賞状と賞金が贈呈された。

若手ポスター賞受賞者：大澤 光(京都大学大学院)

「豪雪地帯における地すべり移動体の浸透能試験」

(共同発表者：松浦 純生・岡本 隆・松四 雄騎・寺島 智己・中町 聡・平島 寛行)

ポスター発表の発表者および発表演題は以下のとおりである。

- P-1 鳥根県の土砂災害の歴史
今村 隆正(株式会社 防災地理調査)
- P-2 大黒山北麓の地すべりについて
原 裕二(株式会社コスモ建設コンサルタント)
- P-3 地震によって発生した流動化地すべり発生箇所の地形・地質的特徴について
杉本 宏之(独立行政法人土木研究所)
- P-4 融雪地すべりが長距離移動する条件の検討
木村 誇(独立行政法人土木研究所雪崩・地すべり研究センター)
- P-5 沖積扇状地面で停止する地すべり土塊の堆積形状に関する考察
畠田 和弘(独立行政法人土木研究所雪崩・地すべり研究センター)
- P-6 火星・マリネリス峡谷における二次すべり堆積物が示す低H/L
福岡 浩(京都大学防災研究所)
- P-7 発掘された自然災害遺構調査のための少量の土試料を用いた沈降分析法による粒度分析
田畑 あすみ(群馬大学大学院)
- P-8 阿蘇カルデラ内壁斜面の崩壊地周辺の浸透能
浅野 志穂(独立行政法人森林総合研究所九州支所)
- P-9 東北地方太平洋沖地震が与えた地すべり対策施工工済み斜面の特徴
一福島県の概成地すべりを事例として—
千田 容嗣(独立行政法人土木研究所)
- P-10 凝灰質粘土の軟化特性を考慮した地震地すべりの地形・地質的検討
篠崎 智至(群馬大学)
- P-11 地すべりにおける不規則な地下水位のモデル化方法に関する考察
一甚之助谷地すべりにおける観測地下水位を例として—
倉岡 千郎(日本工営株式会社)
- P-12 地すべり地の地質構造と水質形成
田中 昭雄(株式会社地研)
- P-13 地すべり地における間隙水圧と移動量に関する検討
丸山 清輝(独立行政法人土木研究所)
- P-14 異常気象時の斜面変動現象：二畝ノ谷地すべり地における観測結果
王 功輝(京都大学防災研究所)
- P-15 Geochemical constraints on the origins of ground water from the Kostanjek landslide in the western part of Zagreb, Croatia
Naoki Watanabe (Niigata University)
- P-16 クロアチアのリエチナ川流域で想定される土砂災害の数値シミュレーション
王 純祥(新潟大学)
- P-17 地すべり調査コアへの近赤外分光分析の利用
磯野 陽子(株式会社エイト日本技術開発)
- P-18 樹脂固定標本を用いた微細構造分析によるすべり面の認定について